

わたしから始める、世界が変わる

# Hunger Zero News

2018. 9  
No.338  
ハンガーゼロ・ニュース



## contents

---

飢餓 ZEROを目指して  
2018世界食料デー  
今年のテーマ、大会日程  
2017の支援報告

Hunger Zero 活動報告  
西日本豪雨緊急支援活動

---



# 飢餓ZERO実現を目指して 新しいドアを開きます！

私たちは2018年7月、新年度から団体の通称名を「Hunger Zero」として新たにスタートしました。

8月6日(月)、東京事務所のある御茶ノ水クリスチャンセンターで「記者発表会」を開催し、メディア、企業パートナー、ハンガーゼロ理事に新しいロゴデザイン(デザイナー長尾優氏制作)も披露するとともに、通称名にこめられたコンセプトを発表させていただきました。

会見で清家弘久ハンガーゼロ理事長は、「社会情勢が大きく変わる中で、より若い世代にアプローチをしていくために、名称においてモデルチェンジが必要との考えにいたりしました。日本国際飢餓対策機構は、いろいろなところから『政府に所属する団体ですか』とよく言われるようになりました。使われている機構という文字から政府の外郭団体を連想されることも多くなっています。それも時代の変化なのですが、団体としてハンガーゼロを実現していく上で、若い世代も含めてより多くの年代の方々に、この取り組みを知っていただくことが必要不可欠だという結論にいたりしました」



右から3人目 清家理事長、2人目長尾優氏、4人目に小堀英郎親善大使

と語りました。

団体通称名が変わることによって飢餓対策の活動自体が変化することはありません。また、日本国際飢餓対策機構は、一般財団法人の名称として使われます。(注：郵便振替の際はハンガーゼロは使えません)さらに海外においては、これまで通りJIFH(=Japan International Food for the Hungry)として、海外パートナーと一層力を合わせて飢餓ゼロに取り組んでいきます。そのために、日本国内では「Hunger Zero」として支援者の裾野を広げていきたいと願っています。ぜひ今後とも応援をお願いいたします。

## これからの取り組み

- 2018年ハンガーゼロ「世界食料デー大会」の開催(全国29会場)  
今年はコンゴ民主共和国で撮影したハンガーゼロ活動ビデオを上映いたします。
- 2018年のクリスマス募金は、コンゴ民主共和国における食料支援などを予定しています。
- カンボジアで青年の生活向上を助けるプログラムを予定しています。
- エチオピアのエイズ孤児とその家族を支える活動を継続します。
- フィリピン・ミンドロ島マイ地区でのHOLPFIの学校プログラムなどを支援します。
- 一人でも多くチャイルドサポーターに加わっていただけるように現地の声をお届けします。
- ハンガーゼロ・パートナーズの拡充。2022年までに100名を目指します。
- ハンガーゼロ専用ウェブサイトの公開(9月上旬)、機関紙刷新「ハンガーゼロニュース」(本号)広報活動を強めてハンガーゼロ運動のサポーターを増やします。

ハンガーゼロの活動を紹介するビデオが完成



## Hunger Zero 活動報告

### FH ブルンジ物資支援

4月19日：1920箱の乾燥野菜スープミックスが到着  
 5月14日：キルンド州とルイギ州他の支援地域  
 及び聖キジト寄宿学校で配布



| 配布先、地域             | 受益者                    | 受益者数    |
|--------------------|------------------------|---------|
| ブソニ                | コミュニティが選んだ、必要に迫られている人々 | 1300 家族 |
| ブガビラ               | コミュニティが選んだ、必要に迫られている人々 | 1200 家族 |
| ギスル                | コミュニティが選んだ、必要に迫られている人々 | 1100 家族 |
| ブジュムブラ<br>聖キジト寄宿学校 | 障がいのある子どもたち            | 205 人   |

### 家族の栄養不足の改善と病気予防に

受益者の1人：カネザ・サロメ

いつも私たちのことを気にかけてくれて、毎日の生活に必要な物を届けて下さるFHブルンジに心から感謝します。私たちは乾燥野菜スープミックスを6袋頂きました。子どもたちは思いがけない贈り物に大喜びで、もっと、もっとと言いましたが、1日に1袋にしないと6日でなくなります。豆やバナナをこのスープに入れるとご馳走になります。栄養不足改善と病気予防にとっても役立つこのスープで、村の食べ物のない人がもっと助けてもらえるように願っています。

### FH ブルンジ：スタッフの報告

カネザ・サロメは25歳で、夫のンゲンダクマナ・グスタブは35歳です。ブソニのマレムボ村に住んでいて、3人の子どもがいます。5歳と1歳の子は自分たちの子どもですが、11歳の女の子、イランクンダは両親がなくなったのでこの家族が育てています。彼女はFHブルンジの支援を受けて学校に通っています。

一家はたいへんよく働く家族ですが、土地がやせているのと不順な気候で作物ができず、いつも食べるものが足りない状態です。



## Hunger Zero 活動報告

### シエラレオネ医薬品支援

シエラレオネのフリータウン・ルンギ国際空港に到着した貨物は、大きな問題もなく通関でき、保健省の職員の監督の下、Mercy & Hope International のディレクターとボランティアによってキング・ジョージ老人ホームとドン・ボスコ孤児院に運ばれました。

### 高齢者や孤児らの窮状に応える

受益者：「キング・ジョージ老人ホーム」の高齢者 150 人  
 「ドン・ボスコ 孤児院」の孤児 2000 人



支援物資を受け取ったキング・ジョージ老人ホームの施設長は、Mercy & Hope International の継続的な支援と今回の医薬品の寄贈に多大な感謝の言葉を述べました。一方で、両施設で暮らす高齢者や孤児が、肉親におろそかにされ棄てられた事実を嘆き、シエラレオネ政府が彼らの窮状を無視し続けることを非人道的で国民として恥ずかしいと話しました。両施設を継続的に支援している数少ない国内団体である Mercy & Hope International と今回の医薬品の寄贈に何度もお礼を述べていました。



**10月16日「世界食料デー」**は、1981年に世界の食料問題を考える日として国連が制定した日です。世界の一人ひとりが協力しあい、世界に広がる栄養不良、飢餓、極度の貧困を解決していくことが目的です。この日をきっかけとして自分自身の生活を見直し、世界の人々と共に生きる生き方を実践しようとする人が増やされていくことが、世界食料デーの願いです。わたしたち Hunger Zero はこの趣旨に賛同し、同じ思いを持つ全国の人々と共に行動してきました。今年も17地域29カ所で「世界食料デー大会」が開催されると共に、家庭で、学校で、職場でさまざまな取り組みが行われます。

## 貧困のサイクルを断ち切る

2018年のHunger Zero 世界食料デーのテーマは、「Hunger Zero・わたしから始める、世界が変わる」です。途上国の過酷な環境の中で生きる人々が、貧困の現実から自立へと変革できるために、私たちに何ができるのか、「共に生きる」とは具体的に何を意味するのかを立ち止まって共に考え、行動を起こすことを願います。

今年の主な支援目標は、コミュニティの自立と子どもたちの教育支援です。慢性的な貧困を引き起こす大きな要因に、世代を超えた貧困のサイクルと言われるものがあります。親が貧しければ、子どもたちも幼い時から働かなければならないために教育の機会を奪われます。自分の名前の読み書きはおろか単純な計算もできない子どもたちは、仕事の選択肢も奪われてしまうのです。その子どもたちが親になっていくとき、貧困の悪循環が生まれてしまいます。この悪循環が断ち切れ、子どもたちの未来が変わるためには、教育を受ける機会を提供する支援が必要です。ひとりの子どもの生涯のわずかな期間に手が差し伸べられて、

栄養改善のためにお粥作りを学ぶ子どもたち（FHカンボジア）



教育を受けることによって開かれる新しい未来、そのために子どもと共に歩んでくださいませんか。貧困のゆえに、自分の足で歩み出すことや、目の前の障害を取り除くことのできない方々の人生に、共に寄り添いその背中を押す支援をお願いします。

## 善い隣人<sup>よとなりびと</sup>となって共に生きる

Hunger Zero はただ肉体や経済的な飢餓だけではなく、その人のいのちの尊厳や人生の豊かさ、可能性を回復させる意味も含まれています。次の世代に継続される持続的な働きが大きな希望へと繋がっていくのです。

Hunger Zero は、「善隣共生」という理念を大切にしています。私たち一人ひとりが善い隣人となって人々と共に生きていくことを表しています。現地でのパートナー団体との密接な働きの焦点は、そのコミュニティに生きる人々が、どのような状況の中でも絶望する事なく、与えられている潜在的な資源を見出す目が養われ、それを活用することによって変革が促される働きです。今年もこの働きを応援してください。

「わたしから始める、世界が変わる」、私たちの日常と途上国の人々の日常とが繋がっていることを覚えながら、一緒に手を差し伸べてくださるよう願います。



**あなたの1食分を  
食料デー募金に**

～下記の活動に使わせていただきます～

- コンゴ民主共和国：農業支援・コミュニティ開発支援
- カンボジア：子ども教育・コミュニティ開発支援
- フィリピン：コミュニティ開発支援
- ルワンダ：学校教育支援
- ケニア：学校給食支援、など



### 募金の方法は次の通り

郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構 「世界食料デー募金」と明記してください。  
またウェブサイトからも募金ができます。

## 2018 世界食料デー大会 開催スケジュール

| 地区  | 大会               | 事務局TEL       | 開催日     | 時 間   | 主な内容                                                                   | 会 場                  |
|-----|------------------|--------------|---------|-------|------------------------------------------------------------------------|----------------------|
| 北海道 | 札幌               | 011-683-5523 | 11/ 3 ㊥ | 10:00 | 10時/音楽(地元アーティスト)、軽トラ市(産地食品販売)<br>13時/講演(ハンガーゼロ田村治郎) 現地報告(ポリビア小西小百合)    | 北星学園女子中高 スミス記念講堂     |
| 宮城  | 仙台               | 03-3518-0781 | 10/13 ㊥ | 13:30 | 講演(ハンガーゼロ伊東綾/児童擁護施設丘の上子どもホーム副園長藤田毅)                                    | 日本聖公会 仙台基督教会         |
|     | 多賀城              | 03-3518-0781 | 10/14 ㊥ | 14:00 | 講演(子供食堂 笠松愛子/ハンガーゼロ伊東綾)<br>音楽(ワンボイスゴスペルクワイア)                           | 多賀城市文化センター 展示室       |
| 千葉  | 千葉北              | 03-3518-0781 | 10/13 ㊥ | 14:00 | 講演(ハンガーゼロ田村治郎) 音楽(市民合唱団)<br>現地報告(ポリビア駐在小西小百合)                          | アミュゼ柏プラザ             |
| 東京  | Tokyo WFD+Gospel | 03-3518-0781 | 10/20 ㊥ | 15:30 | 講演(コンゴ民主駐在ジェローム・カセバ) ※参加費要<br>音楽(白鞘慧海/サムエル、Vincenzo ほか)                | お茶の水クリスチャンセンター 8F    |
| 神奈川 | 横浜               | 03-3518-0781 | 10/13 ㊥ | 13:30 | 音楽(ゴスペルコンサート)<br>講演(ハンガーゼロ鶴若仰太)                                        | 本郷台キリスト教会            |
| 静岡  | 浜 松              | 052-265-7101 | 10/27 ㊥ | 14:00 | 講演(コンゴ民主駐在ジェローム・カセバ)<br>音楽(チャビ&ポイントオブ浜松ゴスペルクワイア)                       | 浜松クリスチャンセンター         |
| 愛知  | 名古屋              | 052-265-7101 | 10/13 ㊥ | 14:00 | 講演(FHカンボジア代表リンリー・グラ)<br>シーサン(カンボジア民族ダンス)                               | 名古屋文化短期大学・アセンブリホール   |
| 滋賀  | 近 江              | 077-579-3308 | 10/14 ㊥ | 13:30 | 音楽(ゴスペルクワイア、キッズ)<br>講演(コンゴ民主駐在ジェローム・カセバ)                               | 近江福音自由教会             |
| 京都  | 京 都              | 075-952-3439 | 11/11 ㊥ | 16:00 | 音楽(ハンガーゼロ親善大使 ナイト de ライト)<br>講演(ハンガーゼロ田村治郎)                            | 長岡福音自由教会             |
| 大阪  | @きりたん            | 06-6652-2091 | 10/ 4 ㊥ | 10:45 | Malico(マリコ、きりたん卒業生)のピアノ演奏とトーク<br>講演(ハンガーゼロ清家弘久)                        | 大阪キリスト教短期大学          |
|     | 八尾河南             | 072-920-2225 | 11/ 3 ㊥ | 14:00 | 現地報告と音楽(親善大使 小堀英郎)<br>講演(ハンガーゼロ近藤高史)                                   | グレース宣教会グレース大聖堂       |
|     | 東大阪              | 072-964-5144 | 10/17 ㊥ | 19:30 | 講演(FHカンボジア代表リンリー・グラ)<br>音楽(ゴスペル)                                       | 大阪シオン教会              |
|     | 南大阪              | 0725-22-3585 | 10/13 ㊥ | 14:00 | 講演(ハンガーゼロ清家弘久)<br>音楽(CRUSH、泉大津市少年少女合唱団) 絵画コンクール表彰                      | テクスピア大阪 大ホール         |
|     | 北大阪              | 06-6384-9396 | 10/13 ㊥ | 14:00 | 音楽(ハンガーゼロ親善大使 ナイト de ライト)<br>講演(ハンガーゼロ鶴浦弘敏)                            | 千里山キリスト教会            |
| 奈良  | 奈良北              | 072-920-2225 | 10/12 ㊥ | 14:30 | 音楽(ハンガーゼロ親善大使 紫園 香)<br>現地報告(リンリー) 講演(清家弘久)                             | 登美ヶ丘グレースチャペル         |
|     | 奈良南              | 072-920-2225 | 11/10 ㊥ | 14:30 | 音楽(ハンガーゼロ親善大使 ナイト de ライト)<br>現地報告(ハンガーゼロ田村治郎)                          | グレース宣教会二上チャペル        |
| 兵庫  | 宝 塚              | 0797-73-6076 | 10/20 ㊥ | 14:00 | 現地報告(FHカンボジア代表リンリー・グラ)<br>講演(ハンガーゼロ清家弘久)                               | 宝塚栄光教会               |
|     | 芦 屋              | 0797-22-5504 | 10/14 ㊥ | 14:00 | 現地報告(FHカンボジア代表リンリー・グラ)<br>講演(ハンガーゼロ清家弘久)                               | 芦屋聖マルコ教会             |
| 高知  | 須 崎              | 03-3518-0781 | 10/13 ㊥ | 14:00 | 現地報告(コンゴ民主駐在ジェローム・カセバ)<br>音楽(市民合唱団)                                    | 須崎市立市民文化会館 大会議室      |
| 広島  | 広 島              | 03-3518-0781 | 調整中     | 調整中   | ビデオ上映(現地報告、講演)                                                         | 広島福音自由教会高陽チャペル       |
| 山口  | 関 門              | 082-546-9036 | 10/14 ㊥ | 16:00 | 音楽(平井加奈(フルート)、Ram's Voice、ハンドベル)<br>講演 現地報告(ハンガーゼロ鶴浦弘敏)                | 梅光学院中学校・高等学校山田宏記念ホール |
| 鹿児島 | 鹿児島              | 03-3518-0781 | 10/12 ㊥ | 19:00 | 報告(「フードバンクかごしま」「かごしまホームレス生活者支えあう会」)<br>音楽(YMCAチアダンスチーム) 講演(ハンガーゼロ黒坂栄司) | サンエールかごしま            |
| 沖縄  | 北 部              | 098-943-9215 | 10/19 ㊥ | 19:00 | 現地報告(ポリビア駐在小西小百合)<br>講演(ハンガーゼロ田村治郎)<br>音楽(ハンガーゼロ親善大使 Manami)           | 名護市労働福祉センター          |
|     | 南 部              |              | 10/20 ㊥ | 19:00 |                                                                        | 那覇バプテスト教会            |
|     | 中 部              |              | 10/21 ㊥ | 16:00 |                                                                        | 沖縄市民会館中ホール           |
|     | 八重山              |              | 10/25 ㊥ | 19:00 |                                                                        | 新川公民館(予定)            |
|     | 久米島              |              | 10/26 ㊥ | 19:00 |                                                                        | 具志川農村環境改善センター        |
|     | 宮 古              |              | 10/28 ㊥ | 16:00 |                                                                        | 宮古島市中央公民館            |

※日程・会場など変更する可能性があります。事前に各大会事務局あるいは東京事務所までお問い合わせください。※ FH= 国際飢餓対策機構

## 2018 世界食料デー現地報告者

リンリー・グラ FHカンボジア代表

【ハンガーゼロ駐在員】

ジェローム・カセバ コンゴ民主共和国

小西小百合 ポリビア多民族国



リンリー



ジェローム



小西



Manami



紫園 香



小堀英郎



ナイトdeライト

ハンガーゼロ親善大使 ※全大会ではありません

## コンゴ民主共和国【支援額750 万円】

### 孤児院と協力して130人の子どもの給食

ハンガーゼロは、現地パートナー、**ハンズ・オブ・ラブ・コンゴ (HOLC)** と協力して、上カタンガ州のプエトで地域住民によるコミュニティ開発 (VOC) の取り組みを支援しています。また、首都キンシャサと第二都市であるルブンバシで子どもたちの給食支援活動を行っています。

ルブンバシでは地元教会と協力し、130 人の子どもたち (内孤児 10 人) に毎週、豆乳やビタミン入りビスケットを提供しています。

首都キンシャサでは孤児院と協力して 112 人の子ども (ストリートチルドレン 50 人、捨て子 26 人、孤児 36 人) を支援しています。紛争が多いコンゴでは、孤児だけでなく、夫が亡くなり育てられなくなった母親に棄てられた子どもや、食べ物を求めて家出したストリートチルドレンが大勢います。そんな子どもたちが身を寄せている孤児院で、主食ウガリとキャッサバの葉の煮ものなどの給食を提供しています。

ストリートチルドレンだったナオミは 11 歳の時に乱暴され、心を閉ざしてしまいました。しかし、孤児院に引き取

られて服飾訓練校へ通えるまでになり、ドレスを作って自分で生計を立てられるようになりました。その後結婚して子どもも生まれました。ナオミは、辛かった過去を振り返り、「給食のおかげで週 2 回は食べることができたことがとても嬉しかった」と感謝しています。



## フィリピン共和国【支援額550 万円】

### 住民主体でのコミュニティ開発を支援

ハンガーゼロは、現地パートナー、**ハンズ・オブ・ラブ・フィリピン (HOLPFI)** を通して、ミンドロ島の原住民マンヤン/タウヴィット族のコミュニティであるマイ地区で、地域住民によるコミュニティ開発 (VOC) の取り組みを支援しています。

2016 年に実施されたリーダーシップトレーニングの中で、村の人たちは 10 年後どんな風になっていたいかをコミュニティのビジョン (VOC) として描きました。その中で最優先課題の一つとして挙げられたのが子どもの教育でした。「子どもたちのために村に学校を!」というビジョンを

掲げて取り組み始めた地域リーダーを HOLPFI スタッフが根気強く励ました結果、地域リーダーは何度も教育省や村役場に足を運んで、教師を派遣して貰う約束をとりつけました。そしてその条件であった 2 つの教室作りを住民だけで完成させ、マイ地区で学校が始まりました。

2018 年 3 月には、地域リーダーの要請に基づき、6 名の代表が HOLPFI の事務所 で 4 日間のファイナンスマネージメントのトレーニング (写真⑥) に参加しました。困難に遭っても諦めず、自分たちで解決していくという体験を通して地域リーダーは、自分たちのビジョンに向かって主体的にコミュニティ開発 (VOC) を進めていく力を身に付けています。ハンガーゼロは、現地パートナー HOLPFI を通して地域の人々に寄り添い、この取り組みを支援していきます。



## 西日本豪雨被災者緊急支援

まび  
真備町の被災者に聞く  
「あの日」から1ヵ月

今村俊介さんと由美子さんと猫のくろちゃん

## Q 被災された時の様子は

自宅近くには、海に流れ込む大きな高梁川と支流の小田川があります。私たちも含めて、もし洪水が起きるならば高梁川だろうと皆さん思っていたと思いますが、今回決壊したのは小田川の方です。あの日（7月6日）は朝から雨が降っていて、22時に避難勧告が出ました。実は「勧告」の意味を分かっていなくて、勧告が出てから2階に荷物を運び、すぐに帰ってくるつもりで猫用に2～3日分の餌と水を用意して、とりあえず夫の車で家を出て、近くの小学校に向かいましたが、道が混んでずっと渋滞していたためコンビニの駐車場に止めて時間を過ごしていました。夜中0時前に今度は『避難指示』がでて、臨時避難所の体育館へ行きましたが、すでに避難者でいっぱいになっていたの、仕方なく車中泊しました。

## Q ご自宅はどのような様子でしたか

7月8日(日)に、通常30分位のところを4時間かかって自宅に戻りました。高台から自宅方面を見た時に、手前の住宅は水没してしまっていたので、自宅もダメかと思いましたが、遠くに、自宅らしい建物が見えて、二階は大丈夫かもしれないという具合でした。翌日、ある程度まで水が引いたので自宅に行くことができたのですが、水は一階の天井までできていて家

の中の全てのものがぐちゃぐちゃになっていました。ピアノも逆さまにひっくり返っていました。

被災直後の様子（撮影：今村さん）

形あるものは壊れるけれど…  
助けられて再確認するものもある

## 過去の震災支援を生かして

## Q 岡キ災（岡山キリスト災害支援室）にはどのような事を助けられましたか

最初は、親戚や友人、会社の同僚が手伝いに来て、35度を超える猛暑の中、水没した物を運び出してくれて本当に助かりました。運び出すのも大変なのですが、水没した家財を指定された場所に出すのに長蛇の列で2時間もかかりました。家の中の物を運び出してから、次はどうすればよいのか分から



なくて、近くの工務店さんに聞きに行きました。外側は綺麗に見えても壁や天井の内側に入れてある断熱材が水を含んでいるから、それを取り除かなければならないと教えてもらい、自分たちで床剥がしをやり始めたのですが、なかなか思うようには作業が進まず岡キ災にボランティアの要請をお願いしました。21日(土)ハンガーゼロの方々が東北や神戸の震災のノウハウを生かして作業をしてくださいました。ちょうど電気が復旧した日に来てくれて、早速高圧洗浄をかけてくれました。（2週間停電していました）

## Q 今後はどうされますか

真備にはクリスチャンは何人かおられますが、教会がありません。何が神様の望まれていることか分かりませんが、9月から仮設住宅に入居することになりました。仮設住宅に住みなが

ら、並行して家を直し、自宅を開放して、地域の皆さんと震災前以上の繋がりができればと考えています。

## あの人たちは本物だあ

## Q 被災体験を通じて思われたことは

あまりにも物をたくさん持ちすぎたということに気づきました。また地域の中で人と人との関係性が大事だなと思いましたね。それから、形あるものは壊れるし無くなるけれど、目に見えないもの、神様がおられて信仰が与えられている幸いを再確認しました。みなさんが色々心配をしてくださいます、当の本人たちはそこまで深刻じゃないんです。なぜなら、そこに全てがあるわけではないから。ただやっぱり助けて頂いたのは本当に有難いです。親戚、友人、同僚と本当にたくさんの方が手伝いに来てくれました。その中で、前職場の方が、岡キ災のボランティアの人たちに会って「いやあ～すっげえなあ～。あの人たちは本物だあ。俺も入信しようかなあ～」とも言っていました。

夫は少し障がいをもっているの、色々な面で大変でしたが、多くの人に助けられて、その背後には神様がいて下さって目に見えないところでも一人一人を見てくださっています。だから希望はあると信じています。

（取材：広報・高濱）



皆様からの緊急募金は広島と岡山での支援活動に使わせていただいています。ありがとうございます。

ハンガーゼロ(日本国際飢餓対策機構)は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体(NGO)です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、海外スタッフ派遣、飢餓啓発を行っています。現在は、国際飢餓対策機構連合(Food for the Hungry International Federation)の一員として、18か国55のパートナー団体と協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「こころとからだの飢餓」に応える活動をしています。

## 西日本豪雨被災者緊急支援

### スタッフ派遣を終了

7月上旬の西日本豪雨災害被災者への緊急支援のために、岡山県倉敷市と広島県呉市に開設された「ボランティアセンター」へのスタッフ派遣は8月末に終了しました。ハンガーゼロでは、伊東緊急支援チームリーダー以下、8名を現地に送り緊急支援活動を行いました。なお、緊急募金は9月末まで受付しています。皆様の温かい応援を感謝いたします。

## 新たなウェブサイトを開開

### Hunger Zero 専用

Hunger Zero(飢餓のない世界の実現)に取り組む団体をより多くの方々に知っていただき、支援の輪を広げていくために、専用サイトを9月上旬に開設します。これにより当団体のウェブサイトはこれまでのJIFH(日本国際飢餓対策機構=今後は法人サイトへ)とチャイルドスポンサー(専用サイト)とHunger Zero(専用サイト)の3ウェブサイト体制となります。支援者様はもとより内外に向けての情報発信を拡大してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

## 理事・評議会開催

### 2017-2018年度決算報告

一般財団法人 日本国際飢餓

対策機構の「定例理事・評議会」が9月7日(金)に大阪で開催されます。決算報告に基づき、各事業部、団体新通称名、西日本豪雨緊急支援活動についての報告、今年度の事業計画などについて討議されます。

## ウガンダサマーキャンプ帰国

### 小堀親善大使ら14名参加

8月17日~27日までハンガーゼロの活動地アフリカ・ウガンダでサマーキャンプが行われ、FHウガンダの活動地視察や応援しているチャイルドの家庭訪問ほか、様々な異文化体験がありました。また



親善大使として参加された小堀氏によるピアノコンサートも行われ、現地の人々と素晴らしい交流の機会を持つことができました。来年の開催地は未定ですが、ぜひご参加ください。

## 2019年カレンダー完成!

### まもなく申し込み受付開始

「Hunger Zero カレンダー」としてデザインも新しくなります。贈呈用としても最適です。キングダムビジネスから発売されます。

## フェアトレードチョコとモカブレンドコーヒー

### キングダムビジネスから

①カカオ 55%のダークチョコ  
シリーズ ¥380/1袋 40g

①シナモン&レーズン②カシューナッツ③ブルーベリーからお好み1つを番号で指定してください。

⑥モカ・ブレンドコーヒー ¥930/1袋 200g

梱包送料: 800円(北海道、沖縄、離島は 800円加算)

①⑥セット送料+税込合計 2,110円を 2,000円でお届け。

※チャイルドサポーターの方は ¥1,800に。

お求めは「キングダムビジネスで検索」ウェブサイトから。

電話 06(6755) 4877 やメールからも注文ができます。



## サポーターお申込み欄 FAX072-920-2155

|       |               |
|-------|---------------|
| ふりがな  | 氏名            |
| (TEL) |               |
| 住所    | 〒             |
| 申込日   | 年 月 日 NL 338号 |

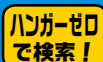
|                          |                                                                    |
|--------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| ✓                        | 下記から希望されるものをお申し込みください                                              |
| <input type="checkbox"/> | ハンガーゼロサポーターとして協力します。<br>①毎月( )円 □ (1 □ 1,000円)<br>②一時募金として 円協力します。 |
| <input type="checkbox"/> | 継続募金(JIFH サポーター)として協力します。<br>毎月( )円 □ (1 □ 500円)                   |
| <input type="checkbox"/> | チャイルドサポーター(子ども1人毎月 4,000円)の説明書(申込書)を送ってください。                       |
| <input type="checkbox"/> | 郵便自動引落とし申込書を送って下さい。                                                |
| <input type="checkbox"/> | その他の銀行自動引落とし申込書を送って下さい。                                            |

上の申込書をコピーして必要事項を記入の上、FAXまたは郵送にて大阪事務所までお送りください。届きましたら確認書類等を送らせていただきます。お電話やウェブサイトでも申し込みできます。

Hunger Zero サポーター 現在... **4470**口

### ■発行者 清家弘久

### ■発行所 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構



Webサイトアドレス <http://www.hungerzero.jp>  
eメールアドレス [general@jifh.org](mailto:general@jifh.org)  
フェイスブック facebookでハンガーゼロで検索

### ■募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイト

①郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構  
②他の金融機関からの自動振替③クレジット、デジタルコンビニ



大阪 〒581-0032 八尾市弓削町3-74-1  
(広島) TEL (072)920-2225 FAX (072)920-2155  
東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OCCビル517号室  
(東北) TEL (03)3518-0781 FAX (03)3518-0782  
愛知 〒460-0012 名古屋市中区千代田2-19-16 千代田ビル3F  
TEL (052)265-7101 FAX (052)265-7132  
沖縄 〒900-0033 那覇市久米2-25-8 メゾン久米202号  
TEL (098)943-9215 FAX (098)943-9216  
USA Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa  
8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605  
TEL (510)568-4939 FAX (510)293-0940



Hunger Zero



JIFH



チャイルドサポーター